



水と緑のレクリエーションの新たな拠点 「ブルービー^{もみ}樅の木公園」がオープン

4月29日、村松・神楽沢地区で「ブルービー樅の木公園」の開園式が行われました。式典では、村松小学校の吹奏楽部による記念演奏のほか、神楽沢近隣公園整備計画策定検討委員会委員の方々や、設計・施工に携わった会社の各代表者、県議会議員および村議会議員の皆さんとともに、テープカットなどを行い、開園を祝いました。式典後には、開園イベントとして、東海太鼓保存会による記念演奏や茨城バックボーンの選手によるバスケット教室、3×3エキシビジョンマッチなどが開催され、多くの方で賑わいました。大きな滑り台や芝生広場など魅力いっぱいの新しい公園に、ぜひお越しください。



東海村オリジナルニュースポーツで大熱戦 小学校の運動会で「イモゾーリレー」を開催

5月18日、村松小学校と照沼小学校の運動会で「イモゾーリレー」が行われ、大熱戦が繰り広げられました。イモゾーリレーは、東海村スポーツ推進委員協議会が考案した完全オリジナルのニュースポーツ競技で、村の特産品である「ほしいも」をテーマにしたリレー形式のスポーツです。運動会では、想定外のハプニングに一喜一憂する子どもたちの表情が印象的でした。また、村松小学校では、「収穫」をテーマに、一輪車と昔ながらの背負いかごを使うなど、アレンジを加えて競技を行いました。これからも、村民の皆さんに運動・スポーツを楽しんでもらえるよう、さまざまなイベントでイモゾーリレーを広めていきます。



【写真左から】山田村長、山口選手



茨城ロボッツが山田村長を表敬訪問 2023-2024シーズン終了・B1継続を報告

5月17日、村とフレンドリータウン協定を締結している茨城ロボッツの西村大介代表取締役社長と山口颯斗選手が山田村長を表敬訪問し、2024-2025シーズンのB1継続、そしてB.LEAGUE PREMIER審査基準である1試合平均来場者数4,000人以上の達成を報告しました。西村社長は「厳しい時期を乗り越え、一体感が生まれたいいシーズンでした」と振り返り、山口選手は「多くのファンの声援のおかげでB1継続できました。これからも頑張りたいです」と意気込みを話しました。今後も、村と茨城ロボッツが相互に連携・協力し、さまざまな活動を展開していきます。